

施策評価調書(22年度実績)

政策体系	施策名	広域交通網の整備推進	施策コード	IV-2-(1)
	政策名	交流を支える交通体系の充実	主管部局名	土木建築部
			担当課室名	建設政策課
施策概要	九州の西側に比べ、鉄道サービスや高速道路網の整備が遅れている九州の東側に位置する本県では、交流や物流の円滑化、高速化が求められており、県外からの観光客の誘致や産業競争力の向上などのため、高規格幹線道路や地域高規格道路、港湾施設などの建設促進に取り組むとともに、航空や鉄道及び海上輸送を含む多様な交通ネットワークの充実に取り組む。			

【評価指標】

主な取組		指標	基準値		22年度			27年度	
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	
①	広域交通網の整備推進	i	県都大分市の中心部まで概ね60分で到達できる人の割合	H16	89.8	92	92.7	100.8%	94
		ii	フェリー航路の利用台数(万台/年)	H16	89.4	93	68.6	73.8%	96
②	高速ICアクセスの強化	iii	高速ICに概ね30分以内に到達できる人の割合	H16	86.2	94	95.0	101.1%	97
③	鉄道の高速・複線化の促進と安全性・快適性の向上	iv	大分県内のJR利用者数(乗客数:万人/年)	H16	2,093	2,093	2,116	101.1%	2,093
④	大分空港の利便性の向上	v	大分空港の利用者数(万人/年)	H16	187	200	148	74.0%	200
						平均達成率(%)		90.1%	

【業績評価】

No.	業 績 評 価			
i	達成	東九州自動車道や中九州横断道路など、大分市中心部までの時間が短縮される道路整備が進められている。		平均 評価
ii	著しく 不十分	長引く不況などによるレジャーの手控えや貨物数の減少をはじめ、原油高騰をきっかけにフェリー会社の経営合理化による一部寄港地の廃止や運行便数の減、また、一昨年3月から始まった高速道路の利用料金、休日上限千円(ETC搭載車)などの施策により、長距離輸送業者や一般の旅客などの利用者が大幅に減少したため目標達成が不十分となった。		
iii	達成	東九州自動車道や中九州横断道路などと連絡する周辺道路の整備により、高速等ICまでの時間が短縮される道路整備が進められている。		
iv	達成	JR大分駅周辺部の豊肥線、久大線の高架化やダイヤ改善等により利便性の向上が図られ、目標を達成した。		
v	著しく 不十分	世界的な景気低迷の継続により、特に輸出型製造業の占める比重の高い本県においてはビジネス需要の減少が大きく影響したと思われる。その他にも東日本大震災の影響による”旅行控え”などの結果、大幅な利用者減となり、目標達成が不十分となった。		概ね達成

【施策目的を達成するための主な事業(22年度)】

指標 No.	事業名		事務事業評価		事業コスト
			総合評価	掲載頁	
i	1	(公)国直轄高速道路事業負担金	—	215	2,261,320
	2	(公)国直轄道路事業負担金	—	212	3,256,863
ii	1	港湾整備事業	—	214	2,152,249
iii	1	(公)道路改良事業	—	213	18,527,355
iv	1	(公)連続立体交差事業	—	220	3,111,475
v	1	大分空港活性化事業	見直し(22年度)事業内容の変更	22	35,014
	2	国際航空路線開設・定着化促進事業	見直し(22年度)事業内容の変更	23	53,552

【構成事業の妥当性】

高規格幹線道路、地域高規格道路や港湾施設などの広域交通網の整備は、産業や観光の振興等を図るうえでも不可欠なもので各方面からも強く要望されており、引き続き実施する必要がある。

【施策主管部局評価】

評価	㊦ 拡充	イ 現状維持	ウ 見直し
理由	<p>公共事業の道路整備等による業績は着実に伸びているが、西九州に比べ、遅れている東九州自動車道や中九州横断道路をはじめとする高速交通網の早期整備が強く望まれており、当該整備によって高い事業効果が期待できるため。</p> <p>また、陸上交通に加え、海上航路や航空路線についても県民生活の利便性向上や地域経済の活性化を図るため、利用者増進を図るべく、できる限りの施策を行っていくことが重要と考えるため。</p>		

【施策目的を達成するための主な事業(23年度)】

指標 No.	事業名		取組内容	事業コスト
i	1	(公)国直轄高速道路事業負担金	東九州自動車道佐伯～蒲江～県境間の整備促進	2,400,000
	2	(公)国直轄道路事業負担金	中九州横断道路(大野～竹田間)など直轄国道の整備促進	3,346,581
ii	1	港湾整備事業	臼杵港下り松地区公共ふ頭など港湾施設の整備推進	2,239,712
iii	1	(公)道路改良事業	中津日田道路など国・県道の整備推進	27,560,420
iv	1	(公)連続立体交差事業	JR日豊本線高架の整備促進	5,158,779
v	1	大分空港活性化事業	県北地域、県南地域及び湯布院と大分空港を結ぶリムジンバスの運行・実験増便を実施	38,231
	2	国際航空路線開設・定着化促進事業	大分ーソウル線の着陸料補助や旅行会社への商品造成支援を実施	50,500

【今後の施策展開の方向性】

○広域交通を支える循環型高速交通ネットワークの早期完成を図るため、東九州自動車道、中九州横断道路、中津日田道路等の高速道路や地域高規格道路などの整備を促進する。

○スカイネットアジア航空の就航による航空ダイヤの充実等に対応して、空港アクセスの改善や旅行商品の造成などの大分空港利用促進策に、行政と関係業界、経済団体が一体となって取り組む。

○ソウル線の安定的運航を図るとともに、運航ダイヤの改善をはじめ、国際航空路線の拡充定着化に取り組む。

○自家用車、トラック等のフェリー利用を促進することにより、フェリーへのモーダルシフト等を推進するなど、フェリー航路の活性化に取り組む。